

女性支援プロジェクトに奮起するの巻

# 仕事もしたいし、子育てもしっかり…。女性のいろいろな生き方を応援します。

女性の社会進出が活発になってきたとは言え、「男は仕事、女は子育て」という意識が根強く残っていて、女性の負担がまだまだ大きいのが現状です。県では女性の負担を少しでも軽減し、社会参加を応援するために「長時間保育」、「女性職業センター」、「ウイミング」の活動を展開しています。そして、「子育て」もこれからは地域で支えていこうと「地域子育て支援事業」が始まりました。今回は小田切成子さん、東栄子さん、濱崎千賀子さんにその様子をレポートしていただきました。

## ●幸運の女神は無料だった

### 女性職業センターを訪ねて

深い景気の中、働きたいと思う女性は六十%いるとか。私もその一人。真剣な気持ちで熊本市にある『女性職業センター』のドアを叩きました。

ここは、女性のための就業支援を行うところで、就業に必要な技術講習会を開催しています。人気のワープロから経理や販売事務・老人介護などの科目群から選んで、一日五時間二十一日間かけて受講。日程も資格検定日に合わせて設定されています。試験の合否はもちろん本人の努力次第です。それで

も無料と聞いて夢が広がりました。

同センターは鶴屋八階に熊本パート

バンクと一体となり「ウイミング」を開設しています。ここでは実際にパート求人票を見て仕事を探すことができます。保母養成士や医療事務、老人の入浴介護と求人は様々。私もやってみたい仕事がいっつか見つかり胸がときめきました。ほかに保育所の情報提供や仕事に関するトラブルの相談にも応じてくれます。「仕事をしたいと思ったら、まず相談に来てください」と相談員さんからのメッセージです。自己実現への近道はより多くの情報を得ることで



「技術講習会は無料なんです」と女性職業センター吉田所長(右)

す。「チャンスは自分でつかむもの!

幸運の女神は前髪しかないのよ。後からは遅い」と濱崎さんが私を奮い立たせます。女性

職業センターやウイミングは働きたい女性のための頼もしいサポート。専業主婦歴十年の私も勇気を出して挑戦してみようかな!? (熊本市・小田切成子)



「私に合う仕事ってあるのかしら」と小田切さん(左)

## ●母親たちの

### 仲間づくりに一役

#### 保育所地域子育て事業を参観

「一歳二カ月になるのに歩かないんです」「おねしょがなかなか治らなくて…。子育てに不安や悩みを持つお母さんを地域で応援しよう」と平成五年度より国の補助を受けて「保育所地域子育てモデル事業」が始まりました。県内では八代市の高田東部保育園で行われています。この事業は、これまで蓄積した育児ノウハウを持つ保育園を活用して①育児不安の相談と指導 ②サークルの育成と支援 ③地域の保育ニーズ



「人目のときは、つい神経質になりますね」と濱崎さん(右)

に応じた特別保育事業の積極的実施などで、子育てを地域ぐるみで支援しようというものです。訪れたその日、友人

## ●子どもたちの明るい表情と安心

### 長時間保育を訪ねて

夕暮れ時、車のエンジンをかけたまま、お母さん、お父さんたちが足早に園に駆け込んで来ます。「お父さん好き! お母さん大好き!」。子どもたちは目を輝かせ、はしゃぎながら答えてくれました。

ここは、『長時間保育』を実践している武蔵ヶ丘保育園(熊本市)。夕方六時を過ぎても残っている子どもたちの表情には何の不安も感じられません。「遅くまで園に残るのはかわいそう」という家族観、親子観で見ないでください。時間が経つことを感じさせないほど、私たちも子どもたちに愛情を持って接しています」と園長先生。「遅くなってもここがあるから安心。子どもが眠るまで、接する時間は短いけれど、一緒に風呂に入った時が一番楽しいです」とお迎えに来たお父さん。子どもと密度の高い接し方に努めている親と、それをサポートする先生の姿には、子どもを愛し育むことへの自信が感じられます。

働く母親を援助しようと始まった「長時間保育」は、朝七時～夜七時まで保育可能です。実際にニーズを持つ人は多いのですが、制度を知り、利用



お母さんたちもおしゃべりに花が咲きます

の紹介で知ったというお母さん方が子どもたちを囲んで、同保育園のプレイルームで積み木や絵本で嬉々として遊んでいました。「ここに来るとホッとするんです」とニコニコ顔のお母さん。悩み自体が深刻なのではなく、誰かに悩みを聞いてもらいたいですよ」と専任保母さん。母親も子どもも仲間が欲しいのだと思いました。

今後、仲間が広がり、地域社会と家庭とが一体となって、これまで子育てに孤軍奮闘してきた母親を支援していく努力が必要だと思えます。折しも、今年には国際家族年です。世のお父さん方、大いに子どもと遊んでください。それだけで、子どももお母さんともっと輝きますよ。

(龍ヶ岳町・濱崎千賀子)



「私も保母をしていたんですよ」と東さん(左)

できているのはごくわずかな人だろうと思います。この制度がもっと広がったらと願っています。やりがいのある仕事に頑張っているお母さん。これから職場に復帰するお母さん。多様な福祉を大いに利用して大きくはばたきましょう!

(松橋町・東栄子)